

あたたかい心

(敬称は省略させていただきます)

社会福祉基金

地域福祉やボランティアの助成などに使われます。お問い合わせは、**社会福祉協議会** ☎33-2333へ。

▷ ボランティアグループさつき会 28,701円、かたつむり 140,000円、ユーナ湘南ヘア研究グループ 72,178円、関東公営競技場サービス業協同組合 50,000円、妙親納税貯蓄組合 6,126円、錦町公園愛護会 5,051円、市危険物安全協会 333,297円、ひらつかスカイプラザ 7,523円、伊藤陽子 2,000円、NTTテレカ 15,000円、杉山秀子 53,270円、県平塚高等職業技術校 21,567円、すみれ会 5,000円、西湘イベント商業協同組合一同 300,000円、平木敏勝 10,000円、藤見会 600円、高橋正勝 1,000,000円、花水栞葉会 10,115円、花水地区老人クラブさくら会代表田中一男 6,116円、本門仏立宗上行寺 50,000円、普明会教団小田原支部支部長永井清 50,000円、さくら会 15,100円、和田ムメ子 50,000円、熊沢武司 20,000円、県立平塚工業高等学校文化祭実行委員会 49,593円、パール美容室 26,568円、杉山忠治 10,000円、高本医院 2,225円、高本努 100,000円、平塚競輪場第三投票所従業員一同 10,000円、窪田邦子 2,000円、小田原ハリストス正教会 50,000円、日本競輪選手会神奈川支部平塚地区 50,000円、湘南たばこ商業協同組合婦人部 20,000円、平塚ステーションビル名店会 150,000円、市仏教会 17,983円、水谷太喜男 3,000円、渡辺一敏 20,000円、県生命保険協会 700,000円、小林定義 10,000円、高野山真言宗相模真友会 30,000円、沼田光憲・憲次 3,000円、神奈川歌謡連盟及び歌謡教室シンガー生徒一同 211,292円、市ビルメンテナンス業協同組合 500,000円、みどり珠算教室生徒一同 3,556円、市役所市民相談室募金箱 15,351円、日向岡すみれ会 5,000円、神田地区虹の会 268,241円、匿名(10件) 2,073,450円

児童福祉へ

▷ 河内地蔵のおさい銭 19,318円

交通遺児へ

▷ 泉栄一 1,000円、イフコレンタカー平塚営業所 22,870円

老人福祉へ

▷ 小林正男 50,000円

心身障害児者へ

▷ 市役所母子像 4,615円

文化振興基金

芸術文化事業の実施や、市民の創造的な文化活動の助成などに使われます。お問い合わせは、**文化行政推進室**(内線673)へ。

▷ 西湘イベント商業協同組合 100,000円、明治大学平塚駿台校友会平塚支部 50,000円、平塚ステーションビル 634,100円、平塚MNプラザ商店会 100,000円

みどり基金

緑化団体の助成などに使われます。お問い合わせは**みどり公園課**(内線425)へ。

▷ 協同組合まつり実行委員会 10,000円、高麗山公園レストハウス募金箱 4,363円、西湘イベント商業協同組合 100,000円

献血ありがとう～1月の献血実施協力事業所

▷ 湊製作所、県経済農業協同組合連合会、日本たばこ産業、平塚税務署、古河電気工業

◆ 次のようなときは変更届を忘れずに出してください

- ・住所、氏名が変わった
- ・他の健康保険に加入した
- ・社会保険などをやめた

◆ 保険料減免の相談は

長期の病気、失業、倒産などにより、保険料を納めることが困難な方には、保

新旧対照表

項目	新	旧
課税限度額	53万円	50万円
所得割	5.6%	5.0%
資産割	10%	20%
被保険者均等割	23,100円	14,800円
世帯別平等割	20,000円	17,900円

保険給付費医療費の増大のため、平成10年4月1日から左表のとおり国民健康保険に新しい課税限度額・税率が適用されます。

国民健康保険 課税限度額等が変更

除税が減免される場合があります。ご相談ください。

▽ 問い合わせ先 保険年金課 保険係 (内線248)

入院時食事療養費の助成を廃止

重度の障害がある方やひとり親家庭などを対象に、保険診療の医療費の個人負担分を助成しています。このうち、入院時食事療養費の標準負担額の助成が廃止になり、四月一日以降は自己負担となります。

お問い合わせは、**障害福祉課**(内線222)または**児童福祉課**(内線216)へ。

夜間ボランティアアスクール

勤労者や学生を対象に、車イスの介助や手話、視覚障害者の誘導法などを体験するボランティア講座を開きます。ボランティア活動

健康福祉

初級手話の講座

▽日時 3月2日(月) 26日(木)の毎週月・木曜日、午前10時～正午

▽会場 福祉会館

▽対象 市内にお住まい、お勤めの方

▽定員 30人(先着順)

お申し込みは、**障害福祉課**(内線221)へ。

婦人健康教室が

今回の内容は「閉経後骨粗しょう症にならないために」です。

▽日時 3月3日(火)午後3時30分～5時

▽会場 市民病院北棟2階

▽申し込み方法 市民病院婦人科外来の予約ノートに

健康について考える各種教室や、健康講話が開かれます。

健康は、いずれも保健センター(中里三十四一十)の七七八面地図参照)です。この機会に健康について考えてみませんか。お申し込みは、

▽日時 3月13日(金)午後1時30分～午後3時

▽持ち物 健康診断の結果表

▽締め切り 3月6日(金)

貧血教室に

貧血予防の料理を試食しながら貧血について学びましょう。

▽日時 2月26日(木)午後

歯の健康教室

内容は「歯周病の予防と歯の磨き方、持ち物は歯ブラシ、コップ、鏡です。

▽日時 2月26日(木)午後

健康講話を

血液中の中性脂肪やコレステロールが増加する高脂血症の知識と予防法について医師が話します。

▽日時 2月24日(火)午後1時30分～2時30分

▽持ち物 筆記用具、健康手帳

▽締め切り 2月20日(金)

体験教室へ

◆ 運動コース：ウォーキング(歩き方について)

▽日時 2月23日(月)午後1時30分～3時

▽持ち物 運動しやすい服装、運動靴、タオル

▽締め切り 2月20日(金)

◆ 栄養コース：すききにやせるために

▽日時 3月6日(金)午前10時～午後2時

▽持ち物 三角布、エプロン、ふきん

▽材料費 三百円

▽締め切り 2月27日(金)

福祉サービス 紹介コーナー

母子相談と家庭児童相談

相談時間は、いずれも午前九時から午後四時まで(土・日曜日、祝日を除く)です。お気軽にご利用ください。

◆ 母子相談：福祉会館母子相談室(33) 23333

母子相談員が、母子、寡婦家庭の様々な悩みや制度について相談をお受けします。生活費、教育費などの経済上の問題、就職、住宅などの生活の問題などお気軽にご相談ください。

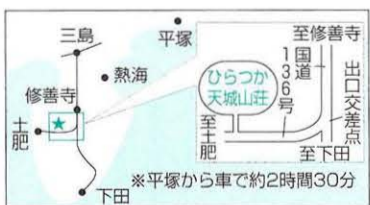
また、母子福祉資金などの貸し付けも行っています。

◆ 家庭児童相談：福祉会館家庭児童相談室(23) 1111(内線723)

家庭児童相談員が、お子さんの性格、生活環境、知能・言語、学校生活、家族関係、心身障害の相談をお受けします。

「うちの子は乱暴をする」「学校・幼稚園に行きたくない」などでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

「ひらつか天城山荘」空き状況



◇ 申し込み ひらつか天城山荘

※ 申し込みは6か月前から受け付け

- ・電話 0558-87-1050
- ・FAX 0558-87-0557
- ・住所 〒410-3216 静岡県田方郡天城湯ヶ島町上船原1120-1
- ・1泊2食付き、大人4,780円、子ども4,280円から

×印 満室 △印 早めに申し込みを ○印 まだ余裕がある 休印 休館日 平成10年2月8日現在

3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	×	×	×	×	×	×	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

あなたも健康推進員に

健康について学んでみませんか。健康の大切さを地域のみなさんに伝えてみませんか。地域のみなさんが必要なことを市へ伝えていただけませんか。このような活動に興味のあるあなた。ぜひ、養成講座(4月～12月・12回程度)を受けて健康推進員として活動してください。

受講を希望される方は、保健センターへ来所してお申し込みください。

◇ 募集人数 30人(先着順)

◇ 申し込み・問い合わせ先 保健センター(中里34-17) ☎34-0311



食生活改善推進員を募集

◇ 申し込み先 保健センター ☎34-0311

全国で21万人、市内でも300人の食生活改善推進員(ヘルスマイト)が、地域の食生活改善のためにボランティア活動をしています。

食生活に興味のある方は、養成講座(4月～3月・16回程度)を受けて、ヘルスマイトとして活躍してください。定員20人(先着順)

赤ちゃんの健康メモ



●保健センター
・中里34-17
・☎34-0311

●平塚保健福祉事務所
・豊原町6-21
・☎32-0130

●3月のカレンダー

3月の母親父親教室

- ◇前期 (妊娠6か月までの方)
 - ・2日(月) 歯の衛生、妊娠中の過ごし方
 - ・9日(月) 妊娠中・産後の栄養
- ◇後期 (妊娠8か月以降の方)
 - ・16日(月) お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法
 - ・27日(金) 赤ちゃんのおふろ
- ◇時間 午後1時30分～4時 (9日は午前10時30分～午後2時)
- ◇会場 保健センター
- ◇持ち物 母子健康手帳、筆記用具 (以上各回とも)、歯ブラシ・コップ・手鏡・牛乳パック(2日)、エプロン・三角布(9日)、手ふきタオル(27日)

離乳食教室です

- お申し込みは、教室の開かれる1週間前までに保健センターへ。母子健康手帳と筆記用具をお持ちになってご参加ください。いずれも第1子が生まれた父母向けです。
- 【ごっくん離乳食教室】
- ◇対象 生後4～5か月児
 - ◇日時 3月26日(木)、午後1時30分～2時30分
 - ◇内容 始め方と試食
- 【もぐもぐ離乳食教室】
- ◇対象 生後7～8か月児
 - ◇日時 3月20日(金)、午後1時30分～3時30分
 - ◇内容 進め方と作り方
- 【カミカミ・ブラッシング離乳食教室】
- ◇対象 生後10～12か月児

- ◇日時 3月12日(木)、午前10時～11時
- ◇内容 進め方と試食、ブラッシング指導

乳幼児健康診査は

- ◇受け付け 午後1時～2時
 - ◇会場 保健センター
 - ◇持ち物 母子健康手帳、筆記用具、歯ブラシ (1歳6か月児のみ)
- 【日程と対象】
- ◇3月の4か月児
 - ・4日 9年11月1日～10日
 - ・11日 9年11月11日～20日
 - ・18日 9年11月21日～30日
 - ◇3月の1歳6か月児
 - ・3日 8年8月1日～10日
 - ・10日 8年8月11日～20日



♥三崎呼夏ちゃん
平成9年5月6日生まれ
(龍城ケ丘)



♠菅野葵ちゃん
平成9年3月10日生まれ
(大神)

赤ちゃんのステージ

課「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686平塚市浅間町9-1)へ対象は1歳未満の赤ちゃん。締め切りは前月の20日。抽選で6人掲載。今回の応募は38人。



♥高山紅葉ちゃん
平成9年11月6日生まれ
(豊田宮下)



♠桑拓海ちゃん
平成9年3月29日生まれ
(真土)



♠松田拓也ちゃん
平成9年6月7日生まれ
(御殿)

★応募写真はCATVでも紹介(1人1回)しています(SCN・番組名「くすのきタイム」)

- ・17日 8年8月21日～31日
- ◇3月の3歳児
 - ・5日 7年1月1日～10日
 - ・12日 7年1月11日～20日
 - ・19日 7年1月21日～31日

8～10か月児健康診査

生後8か月以上11か月未満の乳幼児が対象です。母子健康手帳をお持ちになって、指定医療機関で受診してください。指定医療機関は、市役所健康課(☎23-1111内線259)にお尋ねください。

2歳1か月児歯科診査

- ◇日程 3月3日(火)、17日(火)、24日(火)
- ◇時間 午前9時～10時30分
- ◇持ち物 母子健康手帳、筆

記用具、歯ブラシ
◇会場・問い合わせ先 平塚保健福祉事務所

育児一口メモ

ことばの発達(指差し)
9、10か月ごろになると興味のあるものを指差しして、お母さんに「あるよ、あるよ」と知らせようになります。この行動は、赤ちゃんにとって画期的な成長のあかしであり、「赤ちゃん⇄もの⇄お母さん」という三者の関係が成立したことを意味します。
指差しを始める時期は個人差がありますが、赤ちゃんとお母さんの気持ちが通じ合っていることが大切です。

平塚写真スケッチ



こいつは春から縁起がいいわ

時代によって、言葉の意味は変わる。高校の古文の時間に、そう習った。
その昔、花といえば梅の花をさしていた。古今和歌集の「春やとき 花や遅きと 聞きわかむ 鶯だにも 鳴かずもあるかな」の花は、梅の花をさしている。しかし、平安時代後期から、花は桜の花を意味するようになった。新古今和歌集の「吉野山 花やさかりに にほふらむ ふるさとさえぬ 峯の白雪」の花は、桜の花をさしている。
温暖化が進めば、花といえばハイビスカスをさす時代がくるかもしれない。そんなことを考えながら、平塚八景の一つである松岩寺の参道を歩いていた。境内には、古い梅の木がたくさんある。そして、山門に続く階段のわきは竹林だ。梅、竹と来れば、やはり松。どこかに松はないかと探してみた。目に留まったのは、お堂にかかる額だった。
そうだ、ここは「松岩寺」だったんだ。

(写真は松岩寺、総合公園梅園で撮影)

※広報ひらつかへの意見、提案、感想などをお送りください。広報広聴課(〒254-8686平塚市浅間町9-1)・FAX 0120-704589

ひらつかの自然 No.23

レンジャクの群れ



アンテナに群がるキレンジャク(右)。生け垣のピラカンサの赤い実もよく食べる。
〈写真撮影 松下弓子さん〉



翼に美しい模様が

野鳥に興味を持つている人たちは、二月の後半に入ると、バスに乗っているときも、電線やアンテナが気になって落ち着かなくなります。それは、三月にかけての短い期間、翼に美しい模様を持ったレンジャクという鳥の群れが市街地にも姿を見せるからです。
レンジャクは、漢字では「連雀」と書きます。スズメより大きいムクドリくらいの鳥で、短い冠羽を持った愛きょうのある顔立ちをしています。よく見ると、尾の先が赤いものと黄色いものの二種類があり、それぞれヒレンジャク、キレンジャクと呼ばれています。いずれも冬鳥として日本に渡来し

ます。
ヤドリギの実が好物なので、この鳥に出会うには、ヤドリギの多くついたケヤキやエノキの大木がある場所を探すのが早道です。その他の木の実は食べ、近年は生け垣に植えられたピラカンサの赤い実を食べているのがよく観察されています。
ヒレンジャクが多いかキレンジャクが多いかは年によって違い、昨年はキレンジャク、その二年前はヒレンジャクの三十から四十羽の群れが平塚でも観察されました。
ピラカンサがよく実っている場所があったら、こんな鳥にも注意してみてください。

▽担当 博物館 ☎(33) 51111